

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-7236

年度	平成29年度		
施設名	新潟市児童センター	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設です。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.20
歳入		正職員		修正日	
歳出	650	非常勤	5	評価日	H30.6.20

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者90人以上(単位:人)	91.6	88.5	79.6	86.5	76.9	過去3年間の平均値相等の目標を設定した。	子育て支援の事業や活動の充実 日々、月々、年間の統計	子育て支援センターの新規開設及び放課後児童クラブなどの子どもの居場所が充実していることが挙げられる。	C:未達成
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率80%以上のイベントが8割(単位:%)	—	—	62.5	68.7	69.4	昨年度の実績より10%増の目標値を設定した。	来館者への積極的な声掛け 近隣小学校への働きかけ	通年実施のイベントでは、繰り返し参加する子どもが増加している。今後も、子どものニーズに応じたイベントの開催に努めていく。	A:達成(優)
3	市民	新規・継続使用団体の確保	年間26団体以上(単位:団体)	28	18	20	22	17	過去3年間の平均値相等の目標を設定した。	小学校の教育活動への提案や園外保育へのPR	例年利用していた小学校や幼稚園の利用がなかったため、団体利用が減少した。校外学習や園外保育の利用についてPRしていく。	C:未達成
4	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」80%以上(単位:%)	74.2	74.7	80.0	80.0	65.6	昨年度の実績から、「項目」の数値を5%増の目標値に設定した。	来館者対象の政策改革本部の利用者アンケート実施	「とても満足」の数値は目標値に達しなかったが、「おおむね満足」を含めると、97%に達しており、一定の評価は得られていると考える。	C:未達成
5	市民	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを12回以上(単位:回)	9	6	12	12	11	乳幼児の来館者数やイベント参加人数の減少傾向から、広報活動に積極的に取り組むための目標値である。	市内子育て支援施設等へ訪問広報活動 小学校生活科や園外保育受入のPR	対象年齢の関係から「ゆりかご学級」への広報活動を縮小したため、目標値には届かなかったが、小学校への家庭数配付を拡大した。	C:未達成
6	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	万代市民会館全体で行う避難訓練に職員・来館者8人以上参加(単位:人)	17	5	3	8	3	子どもを遊ばせるために来館した人に避難訓練への参加を進めることは難いため、指標を下方修正した。	勤務時間やイベントなどの調整 来館者が協力しやすい体制づくりや働きかけ	子どもたちが夢中になって遊んでいるため、参加の働きかけが消極的になった。	C:未達成
7	業務	学生ボランティアの確保	年間80人以上(単位:人)	52	74	96	70	89	過去3年間の平均値相等の目標を設定した。 そのため、指標を上方修正した。	ボランティア登録制度 大学のボランティア担当窓口への働きかけ	これまで参加の少なかった大学や専門学校からも、積極的にボランティアの協力を得ることができた。	A:達成(優)
8	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業参加人数平均25人以上(単位:人)	24.1	23.7	22.6	23	22.7	過去3年間の平均値相等の目標を設定した。	連携強化のための相談や話し合い すみ分けや役割分担明確化による事業の充実	地域組織活動グループとの連携は、円滑に進められ、計画どおりに活動が行われた。各グループの活動内容も充実してきている。	B:達成
9	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会等へ職員の参加(平均1人1回 計10回以上)(単位:回)	9	9	9	9	16	研修会の機会の減少や出張しにくい体制であるが、過去3年間の平均値相等の目標値を設定した。	研修会への積極的な参加 自主研修の奨励	参加費の補助により、これまで参加を見合わせていた研修会に参加することができた。今後も継続する。	A:達成(優)
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>運営課題と向き合い、自らの資質・指導力の向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、来館者の確保や事業の充実を努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実にし、安全安心で健全な遊びの場を子どもたちに提供します。</p> <p>口コミによるはじめての来館者が多数います。そのため、一人一人に応じた言葉かけや対応に努めます。「施設の広さや活動の充実度」「遊具の種類の多さ」「遊びの多様性」「一人一人とかわりながら具体的なアドバイスに努める職員の対応」「イベント参加時の楽しさ」等に加えて、「年齢差や学校枠を超えてかわり交流できる児童センターの良さ」を味わってもらえるように、日々、心のこもった丁寧な対応に努めます。</p>	<p>平成29年度の1日平均来館者数は、過去5年間で一番低く、その減少幅も大きくなっている。特に「毎日のように来館する乳幼児親子の減少」「地元小学校児童の減少」が目立っている。また、乳幼児親子の減少の要因は「各区内子育て支援センターの充実」「プレ入園の拡大」「母親の就労機会の増加」等が挙げられる。また、小学生児童の減少の要因は、「携帯ゲーム機の普及や児童の遊び方の変化」「塾や習い事、スポーツクラブへの参加」「ふれあいスクールなど放課後の居場所の拡大」が挙げられる。</p> <p>平成30年度は、「天候を気にせず遊べること」や「さまざまなイベント活動」の広報を継続していくとともに、「広いプレイルームを活用したボール遊びや自転車乗りなど、存分に体を動かして遊べること」や「職員の親身になったかわりや相談を受けられること」など、小規模の子育て支援センターや他の施設にはない、当児童センターならではの魅力を積極的に発信することで、市民や乳幼児・児童に広く知ってもらえるよう努めていきたい。</p>